



RFM認証プログラムをおすすめする理由

Affordable | Highlights Origin | Globally Recognized | Accessible | Credible

持続可能な天然漁業の認証プログラムとして、世界でも最も信頼性の高いプログラムのひとつとされている「責任ある漁業管理(RFM)認証プログラム」。このプログラムを活用することにより、不必要なエコラベル使用料を負担することなく、認証水産物に産地名をともなったエコラベルを表示することが可能になります。「産地」という情報の明示は、消費者の購買動機につながる重要な要素であることが各種調査でも明らかになっています。

認証水産物表示のためのコストを圧縮

認証漁業によって漁獲された水産物を調達していること、そしてその調達のトレーサビリティがサプライチェーン全体を通じて担保されていること — 水産物を取り扱う事業者が、こうしたことを明確に示すことを求められる場面が増えました。持続可能な認証水産物を調達し、そのエコラベルを表示することによりこの状況に対応することは可能ですが、多くの認証プログラムにおいては、エコラベルの使用に対して使用料が発生します。それぞれのプログラムに徴収された使用料は、各プログラムの収入となります。

RFM 認証プログラムにおいては、エコラベルに対し使用料が発生しません。RFM 認証の活用により、エコラベルに対する使用料を負担することなく、持続可能な認証水産物を明確に示すことが可能になります。RFM のエコラベルは無料でご使用いただけます。

RFM 認証プログラムがエコラベルを提供することの目的は、金銭的な収入を得ることにはありません。RFM 認証のエコラベルは、CoC 認証を取得した事業者の皆様が、エコラベルを通じて、お取り扱いの水産物の産地、そのサステナビリティを、使用料を負担することなく、明確に示すことができるようにするためのものです。

また、様々な産地の水産物を取り扱う事業者が認証エコラベル表示の製品を増やしていくためにかかるコストを圧縮するため、RFM 認証プログラムと「[アイスランドの責任ある漁業プログラム](#)」は共通の CoC 認証基準の運用を開始しました。二つの認証プログラムの CoC 基準を統一化することで、事業者が複数の CoC 認証を取得するためのコストを圧縮することが可能となります。こうした取組みが増えていくことにより、認証水産物のエコラベル表示がさらに増え、そのことでそれぞれのエコラベルの認知が向上していくことが期待されます。

水産物の「産地」は購買動機につながるストーリー

ORIGIN

RFM logos always include origin, like these for fisheries from Alaska and for Pacific Whiting (USA).



RFM認証プログラムはそのエコラベルに産地を示します。

「産地」それぞれの水産物に固有のストーリーの一部であり、購買動機にも影響を与える大事な情報です。

RFMでは、アラスカの認証漁業の水産物であれば「アラスカRFM」のエコラベルを、北米の認証/パシフィックホワイティング漁業の水産物であれば「U.S.A. RFM」のエコラベルを表示いただけます。

アラスカのRFM認証水産物には日本語のエコラベル各種がご使用いただけます。



北米の消費者に対して行われた意識調査によれば・・・

- 64%が購買する水産物の原産地を知りたいと回答しました
- 水産物に「アラスカ」という原産地表示がある場合、66%の消費者がその水産物を「買いたい」と回答しました。富裕者層の回答者に限ればその73%がその水産物を「買いたい」と回答しました。

GSSI認定プログラム

その信頼性に加えて、RFM認証プログラムは、グローバル・サステナブル・シーフード・イニシアチブ（GSSI）による世界初の認定プログラムです。このことは、RFM認証プログラムの漁業基準が、GSSIベンチマークの143の必須コンポーネントすべてに一致していることを意味します。GSSIは、ベンチマークプログラムを活用し、持続可能な水産物の認証プログラムを支援していくための国際的なプラットフォームです。様々な国の小売事業者、水産食品メーカー、NGOを含む90を超える企業や団体がこの枠組みにパートナーとして参加しています。

漁業と水産事業のエキスパートが運営

RFM認証プログラムのスキームオーナー、サーティファイド・シーフード・コラボレーティブ（CSC）は、持続可能な漁業の実践に精通している漁業と水産事業のエキスパートにより構成されています。RFMは、漁獲と漁業の諸問題、そしてRFMの認証漁業の各漁業クライアントが求めることを深く理解するメンバーが運営する認証プログラムです。

頻繁に基準が変更されることのない基準をともなったプログラム

RFM認証プログラムは、国連の食糧農業機関（FAO）の「責任ある漁業のための行動規範」などのガイダンスに準拠して開発されたプログラムです。70もの国から集まった世界有数の漁業生物学者、環境団体、漁業管理機関の参加のもと作り上げられたFAOの基準とガイダンスですが、そこに何らかの変更の必要性が生じた場合には、きわめて慎重な審議プロセスを通じてのみ改訂が行われます。このような揺るぎないFAOの基準に準拠するRFM認証の基準もまた極めて安定したものであり、他のプログラムのように、特定の利害関係者からの働きかけなどによって頻繁に基準に変更が加えられることはありません。

責任ある漁業管理を検証するのがRFM認証プログラム

RFM認証プログラムは、持続可能な水産物の認証プログラムが責任ある漁業管理とガバナンスを検証するものであるというコンセプトに基づき開発されました。責任ある漁業管理や漁業ガバナンスそのものではありません。

Certification <u>IS</u> :	Certification <u>IS NOT</u> :
資源調査と漁業管理が健全な方法とガバナンスのもとで行われていることを検証するもの	海洋調査や漁業勧告
監督官庁がその機能として漁業管理を行っていることを確認するプロセス	漁業管理への干渉
ある水産物が責任ある漁業管理のもとで漁獲されたものであることを市場に示すための機会を提供するもの	エコラベル使用料を徴収する手段

最小限におさえられたプログラム運営費

エコラベルの使用料を徴収しないため、プログラムの運営コストはRFM認証漁業の漁業クライアントによって支払われる管理手数料によって賄われています。この管理手数料はそれぞれ水揚げの五年平均金額に基づいて計算され、現時点では、5,000万ドルの平均水揚げ高に対し約\$8,500ドル、US\$1あたりUS\$0.00017程度の計算となります。